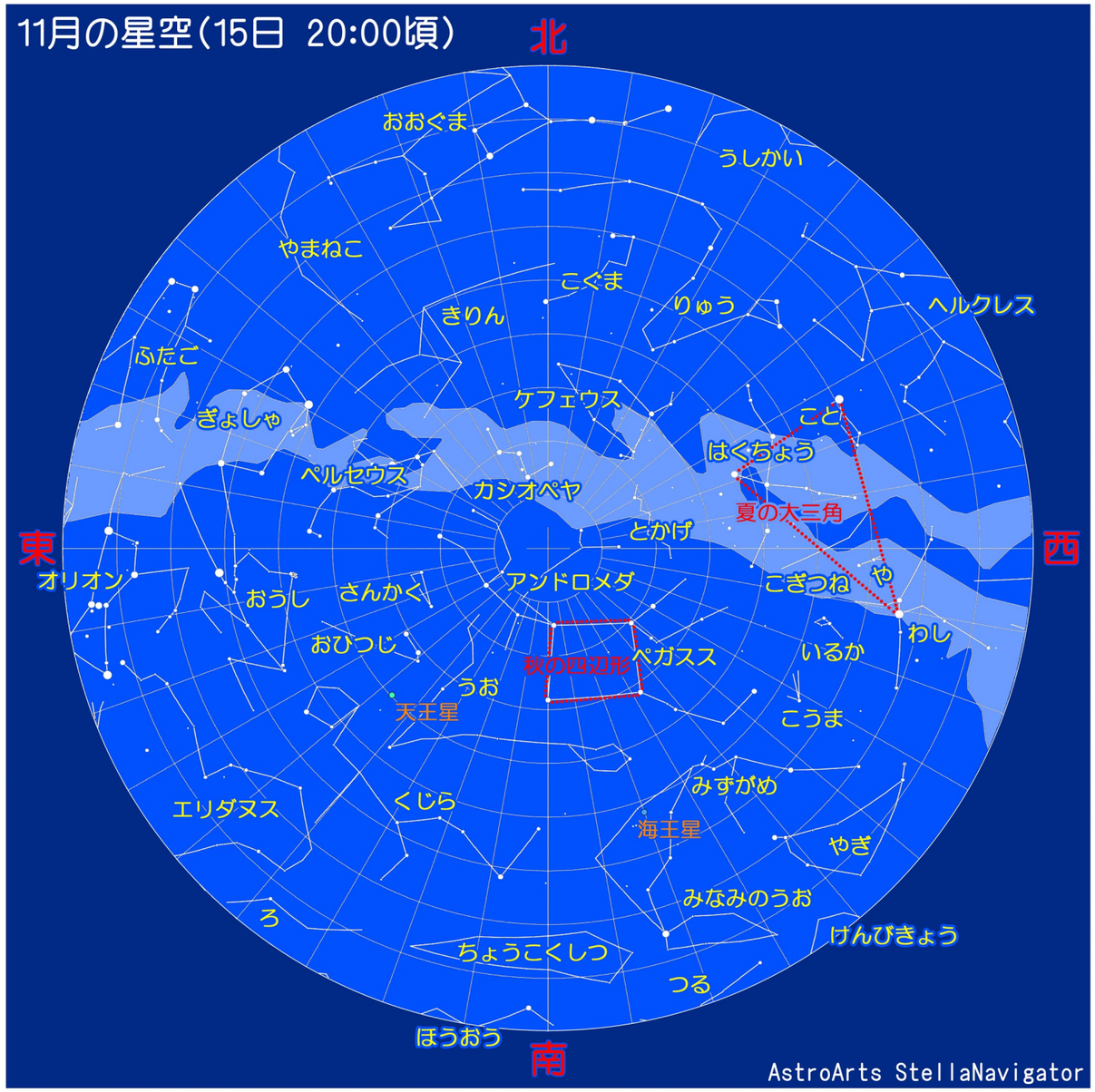
# 銀河の森天文台
# 2019年11月みどころ天体情報




## 今月のイチオシ！

### ☆ペガスス座 51番星（恒星）

ペガスス座51番星は、1995年に人類史上初めて太陽系以外の惑星（ペガスス座51番星b）が発見された星です。2015年には公募により、ペガスス座51番星には「Helvetios」、系外惑星のペガスス座51番星bには「Dimidium」という名前が付けられました。マイヨール氏とケロー氏が受賞した今年のノーベル物理学賞は系外惑星を初めて発見したことに対して贈られたものです。

距離：約50光年

ペガスス座51番星

## 月

| | | 出 | 没 |
|---|---|---|---|
| 4日 | ◐上弦 | 12:39 | 22:20 |
| 12日 | ○満月 | 16:10 | 05:25 |
| 20日 | ◑下弦 | 23:19 | 12:48 |
| 27日 | ●新月 | 06:44 | 16:31 |

天文台から月を見ることができるのは1～16日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

## 天王星・海王星

太陽系の外側から２つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です。

太陽からの距離

天王星：約29億km

海王星：約45億km

## M45（散開星団）

「プレアデス星団」「すばる」と呼ばれている星団で約100個の若い星で構成されています。双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。枕草子に「星はすばる」と書かれているほど古くから親しまれてきた天体です。

距離：約410光年

## M76（惑星状星雲）

M27「あれい状星雲」を小さくしたような形に見えることから、「小あれい星雲」と呼ばれています。

NGCカタログでは2つの明るい部分のうち、北側がNGC651、南側がNGC650と二つの番号がつけられています。

距離：約2000～6000光年

## M15（球状星団）

秋を代表する球状星団でちょうどペガスス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

## M31（銀河）

有名なアンドロメダ銀河です。肉眼でも見ることができます。りくり望遠鏡では視野からはみ出してしまうほど大きく、全体を見るのであれば、双眼鏡を使うのが良いでしょう。

距離：約230万光年

## アルマク（重星）

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

## ちょっとマニア・ミラ（恒星）

ミラという名前には「不思議な星」という意味があります。これは、ミラが明るさを変える変光星であることから名づけられたものです。今年は11月頃に明るく見える極大を迎えます。

距離：約2730万光年

## その他おすすめ

- M33（銀河）
- M52（散開星団）
- NGC1514（惑星状星雲）
- NGC7331（銀河）
- NGC7662（惑星状星雲）
- h-χ（散開星団）
- ガーネットスター（恒星）

## 11・12月の銀河の森天文台カレンダー

11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

**開館時間**

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日